

社会福祉法人擁童協会定款

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人(以下「法人」という。)は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、その有する能力に応じ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- (1) 第一種社会福祉事業
 - (イ) 児童養護施設の経営
 - (ロ) 障害者支援施設の経営
- (2) 第二種社会福祉事業
 - (イ) 幼保連携型認定こども園の経営
 - (ロ) 一時預かり事業の経営
 - (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営
 - (ニ) 障害福祉サービス事業の経営
 - (ホ) 特定相談支援事業の経営
 - (ヘ) 障害児相談支援事業の経営
 - (ト) 子育て短期支援事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人擁童協会という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、子育て世帯、経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を岐阜県揖斐郡大野町大字寺内624番地に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名以上を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、職員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。）の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して、各年度の総額が1,000,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 事業計画及び収支予算
- (5) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (6) 定款の変更
- (7) 残余財産の処分
- (8) 基本財産の処分
- (9) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (10) 社会福祉充実計画の承認
- (11) 解散
- (12) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

（開催）

第 12 条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後 3 ヶ月以内に 1 回開催するほか、必要がある場合に開催する。

（招集）

第 13 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

（議長）

第 14 条 評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

（決議）

第 15 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第 17 条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第 1 項及び第 2 項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき

は、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 16 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人 2 名は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第 4 章 役員及び職員

(役員の数)

第 17 条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6 名以上
- (2) 監事 2 名

- 2 理事のうち 1 名を理事長とする。

(役員を選任)

第 18 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員資格)

第 19 条 社会福祉法第 44 条第 6 項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか 1 人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の 3 分の 1 を超えて含まれることになってはならない。

- 2 社会福祉法第 44 条第 7 項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他の特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第 20 条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 理事長は、毎会計年度に 4 箇月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第 21 条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財

産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第 22 条 理事又は監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第 17 条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第 23 条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第 24 条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(責任免除)

第 25 条 理事又は監事が任務を怠ったことによって生じた損害について社会福祉法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、社会福祉法第 45 条の 20 第 4 項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 113 条第 1 項の規定により免除することができる額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

(責任限定契約)

第 26 条 理事（理事長、業務を執行したその他の理事又は当該社会福祉法人の職員でないものに限る。）又は監事（以下この条において「非業務執行理事等」という。）が任務を怠ったことによって生じた損害について社会福祉法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金 30,000 円以上であらかじめ定めた額と社会福祉法第 45 条の 20 第 4 項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 113 条第 1 項第 2 号で定める額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結することができる。

(職員)

第 27 条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員(以下「施設長等」という。)は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第 5 章 理事会

(構成)

第 28 条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第 29 条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第 30 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第 31 条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(決議)

第 32 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 33 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第 6 章 資産及び会計

(資産の区分)

第 34 条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の 2 種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- (1) 岐阜県揖斐郡大野町大字寺内字広野624番地2、625番地1、625番地4所在の鉄筋コンクリート造陸屋根2階建大野慈童園事務所兼保母室1棟(1階105.99平方メートル、2階105.99平方メートル)
- (2) 同県同郡同町大字大野字十三野221番地5、221番地6、221番地23、221番地24、239番地1、239番地3、239番地5、240番地1、240番地2、243番地2所在の鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板葺平家建大野保育園園舎1棟(1,087.13平方メートル)
- (3) 岐阜県揖斐郡大野町大字寺内字広野625番地1所在の木造スレート瓦葺平家建大野慈童園居宅(友愛ホーム)1棟(45.54平方メートル)
- (4) 同所字広野623番地1、623番地2、622番地1、622番地3、623番地2所在の鉄筋コンクリート木造陸屋根合金メッキ鋼板葺平家建西濃向生園養護所1棟(1,818.85平方メートル)
- (5) 同所字広野623番地1所在の鉄骨造陸屋根2階建西濃向生園養護所(1階214.96平方メートル、2階66.43平方メートル)
- (6) 同所字広野623番地5所在の鉄骨造垂鉛メッキ鋼板葺平家建西濃向生園養護所1棟(425.70平方メートル) 符号1 鉄骨造ストレートぶき平家建養護所(79.49平方メートル)
- (7) 岐阜県揖斐郡揖斐川町長良字大門24番地1所在の鉄筋コンクリート造瓦葺平家建西濃サンホーム養護所1棟(4,178.33平方メートル)
- (8) 同所字大門24番地1所在の鉄骨造スレート葺平家建西濃サンホーム車庫1棟(104.94平方メートル)
- (9) 岐阜県揖斐郡大野町大字寺内字広野626番地1所在の木造合金メッキ鋼板葺2階建大野慈童園園舎1棟(1階1,606.24平方メートル、2階486.15平方メートル)
- (10) 岐阜県揖斐郡大野町大字大野字村内1038番地6所在の木造スレート葺2階建西濃向生園居宅1棟(1階70.58平方メートル、2階59.62平方メートル)
- (11) 岐阜県揖斐郡大野町大字大野字古城北842番地3所在の木造垂鉛メッキ鋼板葺平家建西濃向生園店舗1棟(93.86平方メートル)
- (12) 岐阜県揖斐郡大野町大字寺内字広野624番地1所在の大野慈童園宅地1筆(3,231.43平方メートル)
- (13) 同所字広野625番地1所在の大野慈童園宅地1筆(68.58平方メートル)
- (14) 同所字広野626番地1所在の大野慈童園宅地1筆(6,032.79平方メートル)
- (15) 同所字広野624番地2所在の大野慈童園宅地1筆(1,695.00平方メートル)
- (16) 同所字広野624番地3所在の大野慈童園宅地1筆(793.00平方メートル)
- (17) 同所字広野623番地2所在の西濃向生園宅地1筆(2,688.00平方メートル)
- (18) 同所字広野623番地1所在の西濃向生園宅地1筆(2,567.18平方メートル)
- (19) 同所字広野623番地5所在の西濃向生園宅地1筆(993.88平方メートル)
- (20) 同所字広野622番地3所在の西濃向生園宅地1筆(495.86平方メートル)
- (21) 同所字広野622番地1所在の西濃向生園宅地1筆(2,747.10平方メートル)
- (22) 同所字広野622番地2所在の大野慈童園畑1筆(280.00平方メートル)
- (23) 同所字広野613番地5所在の大野慈童園畑1筆(125.00平方メートル)
- (24) 同所字広野615番地3所在の大野慈童園畑1筆(13.00平方メートル)

- (25) 同所字広野622番地5所在の大野慈童園原野1筆(269.00平方メートル)
 - (26) 岐阜県揖斐郡大野町大字大野字十三野240番地1所在の大野保育園宅地1筆(208.26平方メートル)
 - (27) 同所字十三野240番地2所在の大野保育園宅地1筆(211.57平方メートル)
 - (28) 同所字十三野241番地1所在の大野保育園宅地1筆(225.60平方メートル)
 - (29) 同所字十三野241番地2所在の大野保育園宅地1筆(243.18平方メートル)
 - (30) 同所字十三野221番地23所在の大野保育園宅地1筆(429.75平方メートル)
 - (31) 同所字十三野239番地3所在の大野保育園宅地1筆(280.99平方メートル)
 - (32) 同所字十三野221番地24所在の大野保育園宅地1筆(89.25平方メートル)
 - (33) 同所字十三野221番地17所在の大野保育園宅地1筆(1,094.21平方メートル)
 - (34) 同所字村前東201番地13所在の大野保育園宅地1筆(36.36平方メートル)
 - (35) 同所字村前東217番地10所在の大野保育園宅地1筆(72.72平方メートル)
 - (36) 同所字十三野239番地1所在の大野保育園宅地1筆(284.78平方メートル)
 - (37) 岐阜県揖斐郡揖斐川町長良字大門24番地1所在の西濃サンホーム宅地1筆(13,077.36平方メートル)
 - (38) 岐阜県揖斐郡大野町大字大野字村内1038番地6所在の西濃向生園宅地1筆(192.78平方メートル)
 - (39) 同所字十三野239番地5所在の大野保育園宅地1筆(35.55平方メートル)
 - (40) 岐阜県揖斐郡大野町大字大野字古城北842番地3所在の西濃向生園宅地1筆(509.90平方メートル)
 - (41) 預金 303,290円
- 3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。
- 4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第35条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、岐阜県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、岐阜県知事の承認は必要としない。

- 一 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- 二 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

第36条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第 37 条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現在数）の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第 38 条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、定時評議員会に提出し、第 1 号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第 1 項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に 5 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第 39 条 この法人の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第 40 条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第 41 条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

(解散)

第 42 条 この法人は、社会福祉法第 46 条第 1 項第 1 号及び第 3 号から第 6 号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第 43 条 解散(合併又は破産による解散を除く。)した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第 44 条 この法人は、保有する株式(出資)に係る議決権を行使してはならない。

第 8 章 定款の変更

(定款の変更)

第 45 条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、岐阜県知事の認可(社会福祉法第 45 条の 36 第 2 項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を岐阜県知事に届け出なければならない。

第 9 章 公告の方法その他

(公告の方法)

第 46 条 この法人の公告は、社会福祉法人擁童協会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第 47 条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	河瀬 定行
理事	加納 巖
〃	三輪 ササ子
〃	多田 亮映
〃	坂井田美代次
〃	井川 全網

監 事 若 原 三 義
" 西 脇 芳 郎

附 則

昭和27年 5月 9日 財団法人より社会福祉法人へ組織変更認可
(社会福祉法人擁童協会定款認可)

附 則

昭和29年 3月31日 一部変更認可

附 則

昭和34年 7月 7日 一部変更認可

附 則

昭和42年 3月25日 一部変更認可

附 則

昭和49年11月 9日 一部変更認可

附 則

昭和51年 1月29日 一部変更認可

附 則

昭和61年11月20日 一部変更届(基本財産の増加)

附 則

昭和63年 3月30日 一部変更認可

附 則

平成 3年 4月 6日 一部変更届(基本財産の増加)

附 則

平成 5年 3月22日 一部変更認可

附 則

平成 7年 3月17日 一部変更認可(定款準則の変更及び理事定数の変更)

附 則

平成 8年10月 4日 一部変更認可(土地623番地1からの分筆231番地5の増加)

附 則

平成10年 3月26日 一部変更認可(定款準則の変更及び基本財産の増加)

附 則

平成12年 9月26日 一部変更認可(西濃サノホーム施設新設設置等)

附 則

平成13年 5月31日 一部変更認可(西濃サノホーム園舎、車庫基本財産の増加)

附 則

平成14年 1月21日 一部変更認可(定款準則の変更)

附 則

平成17年 3月14日 一部変更認可(大野慈童園旧園舎の基本財産の処分
(大野慈童園新園舎の基本財産の増加、評議員会の設置)

附 則

平成19年 2月23日 一部変更認可
(事業変更、西濃向生園基本財産の増加 定款準則の変更)

附 則

平成19年11月26日 一部変更認可(西濃向生園、大野保育園基本財産の増加)

附 則

平成20年11月 6日 一部変更認可(定款準則の変更、基本財産の記載修正)

附 則

平成21年 6月30日 一部変更認可(児童福祉法等の一部改正に基づく定款の記載変更、大野保育園新園舎の基本財産の増加及び減少)

附 則

平成23年 2月23日 一部変更認可(事業の目的追加)

附 則

平成23年12月22日 一部変更認可(事業の目的の削除、西濃向生園基本財産の追加及び変更、基本財産の記載修正)

附 則

平成26年 5月19日 一部変更認可(役員任期変更)
平成26年5月に改選される役員の仕事の任期は、定款の規定にかかわらず、平成27年5月8日までとする。

附 則

平成26年 8月27日 一部変更届(西濃向生園基本財産の増加)

附 則

平成28年 3月29日 一部変更届(大野保育園事業変更)

附 則

平成29年 4月 1日 一部変更認可(定款準則の変更、事業の目的変更)
基本財産建物(11)及び基本財産土地(40)の増加については平成29年1月6日より施行する。